

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2014年4月～2019年12月に、20mm以上の非有茎性大腸腫瘍に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術もしくはスネア先端刺入法を用いた内視鏡的粘膜切除術を受けた方			
②研究課題名	20mm以上の非有茎性大腸腫瘍に対するスネア先端刺入法を用いた内視鏡的粘膜切除術の有用性に関する後ろ向き研究			
③実施予定期間	承認日 ～ 2022年3月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	堀田 欣一	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑥当院の研究代表者	氏名	堀田 欣一	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧目的	20mm以上の非有茎性大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は、一括で切除できる割合（一括切除割合）が高いものの、難易度が高く、入院を要する点が問題となります。一方、スネア先端刺入法を用いた内視鏡的粘膜切除術（Tip-in EMR）はESDと比べ簡便で外来治療が可能であり、近年10mm以上の大腸腫瘍に対して高い一括切除割合が報告され、20mm以上の大型大腸腫瘍に対しても高い一括切除割合が期待されます。本研究では、20mm以上の非有茎性大腸腫瘍に対するTip-in EMRとESDの治療成績を比較し、Tip-in EMRの有用性を検討することを目的としています。			
⑨方法	本検討では、患者さんの診療録から解析に必要な患者背景、病変背景、内視鏡所見を事務局で収集し、解析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。対象病変をTip-in EMRとESDの2群に分けて、一括切除割合、有害事象などの治療成績を比較します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020年7月3日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長